

平成28年 3月25日

佐賀県におけるICT利活用教育の取組概要

情報端末(学習用パソコン)導入の経緯

佐賀県教育委員会
(副教育長・福田孝義)

1 佐賀県における教育の情報化の主な取組(経緯)

佐賀県
<http://www.pref.saga.lg.jp/>

平成16年度(2004年) 校務用PCの整備に着手(※平成21年度で完了)

21世紀型教育への移行(学習指導要領の改定等)
拡大する新たな教育課題への対応

平成20年度(2008年)

- ・「さがICTビジョン2008」の公表
- ・ボード型電子黒板の試行導入 等

平成21年度(2009年)

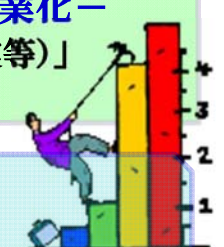
- ・実証研究に着手(テレビ型電子黒板の導入、eラーニング教材(試作版)の開発、他) 等

平成22年度(2010年)




- ・実証研究の拡充(Web版学習プリント配信システムの活用 等)、国事業への参加
- ・教職員の資質向上に向けた指導者養成研修実施 等

平成23年度(2011年)～平成26年度(2014年)

- － 先進的ICT利活用教育推進事業として、全県実施に向けて事業化－
- 実証から本格実施に向けた段階的強化(「人材育成(教職員研修の充実等)」
と「ICT機器の整備」、「教育情報システムの構築」を一体的に推進)

平成27年度(2015年)～ 新たなステージに向けた事業展開
事業の改善、充実、定着

2 全県展開に向けた県立学校対象の段階的取組

具体的取組		H23	H24	H25	H26	H27～
人材育成 (教職員研修)		第1期:内容理解 *教職員研修・推進リーダー研修			第2期:実践力養成 *教員採用試験への反映	(改善充実) 第3期
ICT機器 の整備 (校内LAN 電子黒板 情報端末 等)	県立中学校 (併設型中高 一貫教育校) <全4校>	実証研究(2校) 	—		—	改善 充実 定着
	県立高校 <全36校>	—	全校展開 実証研究(普通2校、専門3校)	※電子黒板整備 (研修用、特別教室)	※電子黒板整備 (全普通教室) 全校展開	
	県立 特別支援学校 <全8校>	実証研究(3校) 	—	—	—	
佐賀県教育情報システム (SEI-Net)の設計・構築		試作版での検証	設計・構築	運用(校務管理から順次開始)・改善		
国及び市町との連携		・国(総務省、文部科学省等)との連携による実証事業の実施と県独自事業への反映 ・県と全市町で組織する推進協議会による全県での事業実施と連携				

2

3 県立高校での情報端末1人一台体制移行時の主な取組

年月	主な取組	(広報等)	(手続等)
H24. 4～H25. 6	・機種選定作業 (実証研究※1、他)	・教育フェスタ等での 機種紹介等※2	・端末選定委員会 での協議
H25. 7	・機種決定※3	・生徒・保護者への広報 (リーフレット配布等)	・教育委員会対応
H25. 7～10		・相談窓口の開設	・首長・財政部局及び 県議会との協議
H25.10～12	・県立高校入学者選 抜要項への明記 ・教師用端末の購入	・生徒・保護者への広報 ・操作体験会の開催 ・市町への情報提供	
H26. 1～ 3	・教職員研修の強化 ・県立高校入試	・合格者への説明 (生徒、保護者等)	・購入希望調査 ・補助金申請 ・貸付申請等 (育英資金等)
H26. 4～	・入学式(運用開始) ・利活用状況の精査	・広報活動の強化	機器販売、機能設定 教材提供※4

(備考)※1: 県立高校5校にiPad又はWindowsタブレットを配布し実証研究を実施
 ※2: Apple社、MS社、Sharp社からの実機によるプレゼンテーションの実施、他
 ※3: 平成26年度の県立高校1年生用はWindows8タブレット(キーボード付)に決定。検討は継続して実施と付記。
 ※4: 教師が学習指導で利活用するデジタル教材は県で調達し、生徒に貸与。

3

朝のホーム

- 1 時間目 「英語表現Ⅰ」
- 2 時間目 「世界史A」
- 3 時間目 「化学基礎」
- 4 時間目 「体育」

昼休み(昼食等)

- 5 時間目 「数学Ⅰ」
- 6 時間目 「国語総合」

帰りのホームルーム

自宅で (自宅学習)

例えば、朝のホームルームでは、

- 学習用PCを使って本日の時間割や行事を確認
- 課題提出、家庭での学習状況調査 等

授業中は、

- デジタル小テストによる知識の定着
 - ・択一式問題は自動採点・自動集計が可能
 - ・記述式問題は、解答内容が教師機に反映電子黒板に提示して全員で協議
- デジタル教材を使って学習
 - ・デジタル教材の音声機能を使って、リスニングの学習
 - ・化学の実験を動画で確認しながらレポート作成(発表)
 - ・内蔵カメラを使い、グループでフォームを撮影してチェック
 - ・図形表示ソフトを使って空間図形のイメージを確認 等



- 学習の振り返り
(アンケート機能を使った生徒の自己評価)



帰りのホームルームでは、

- 学習内容の振り返り
- デジタル通信、課題の配布
- メッセージ機能で教師に進路相談 等

自宅や校外では、

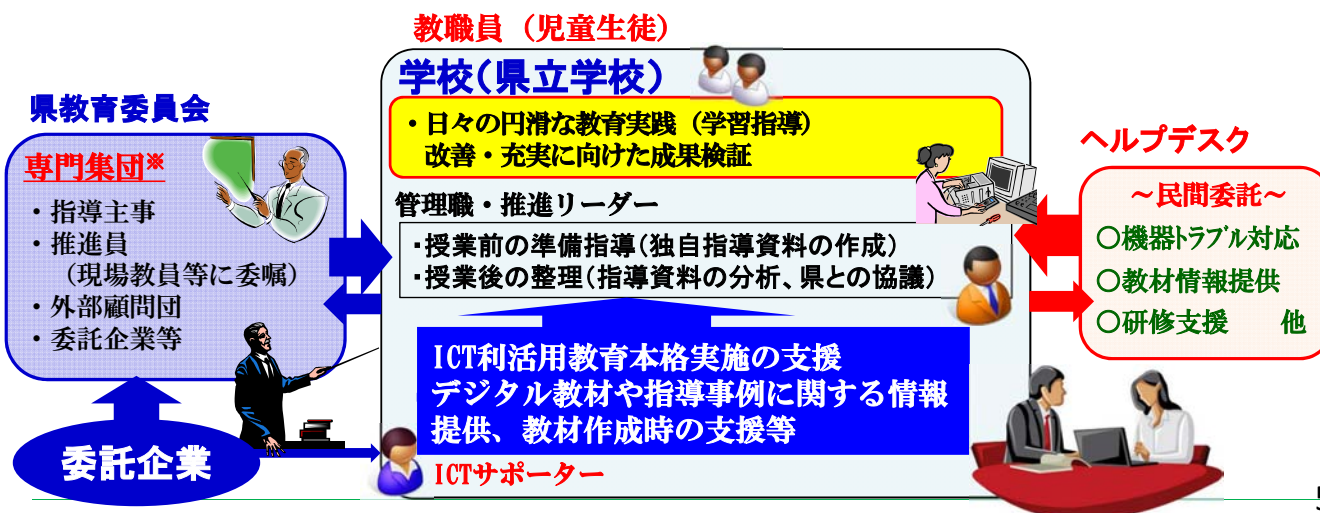
- 学校の様子を家族に報告
- 授業の予習・復習(デジタル課題にチャレンジ)
- 検定試験に備えて、ネットラーニング講座にチャレンジ 等

4 円滑な実施のための組織的なサポート体制の維持・強化

県立学校全校での本格実施にあわせ、県教育委員会からの支援体制を強化。

主な内容

- 相談・支援体制の強化 (教育情報課内に専任指導主事を配置等)
- 各学校での自主教材作成支援のためのICTサポーターの派遣 (教材会社に業務委託)
⇒各学校でのデジタル教材の作成支援、授業の円滑な進行支援、授業実施後の分析・整理・編集
- モデル指導資料の例示と個別研修の充実 (専門集団※によるモデル指導資料の作成)
- 機器トラブル対応のためのヘルプデスクの設置 (業者委託、現地員の派遣)



終わりに



<http://www.pref.saga.lg.jp/web/>

以上です。
今後とも、佐賀県をよろしく
お願いいたします。